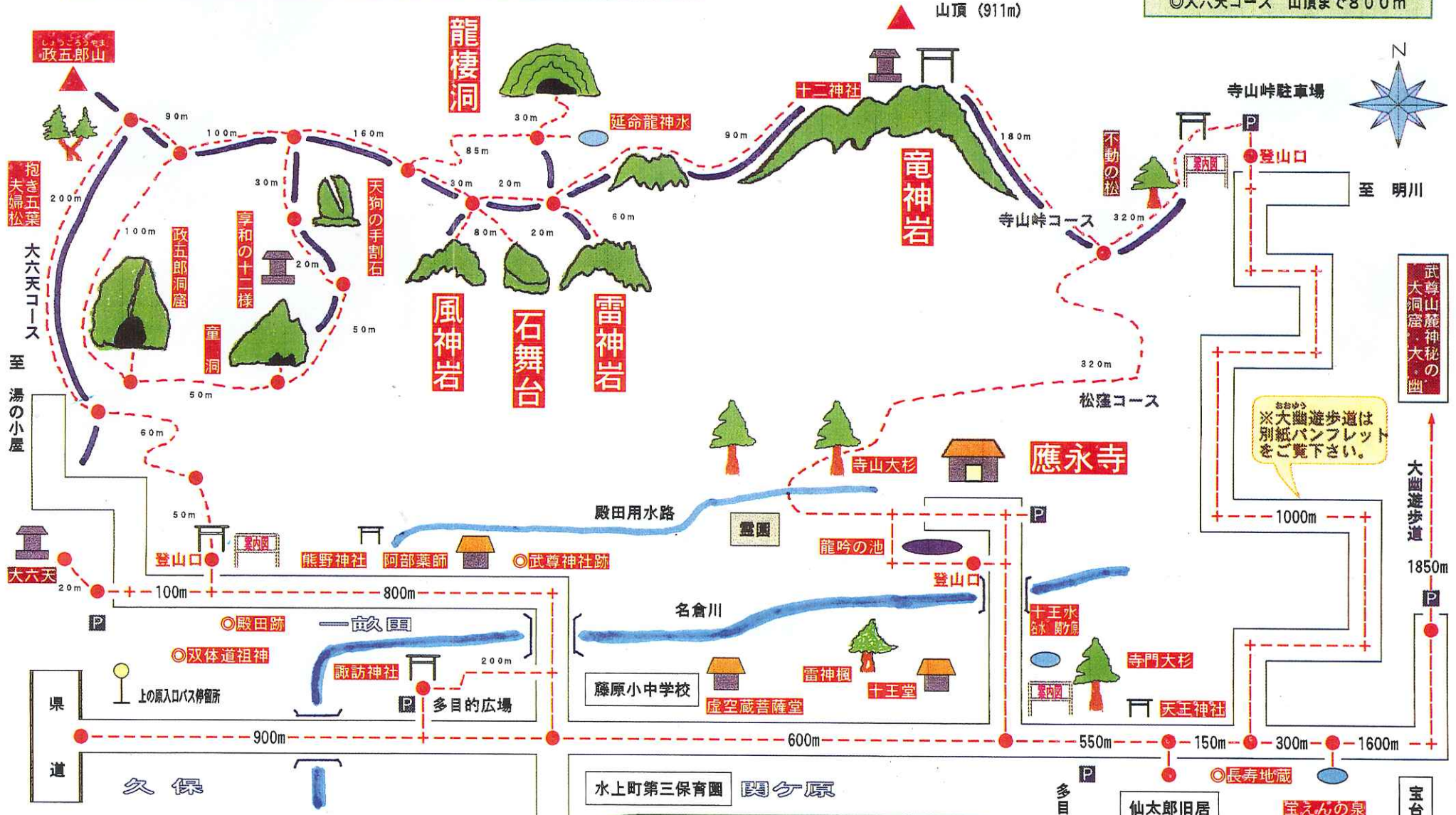


あま よび やま
雨呼山遊歩道案内図

- 遊歩道コース名**
- ◎寺山峠コース 山頂まで500m
 - ◎松窪コース 山頂まで500m
 - ◎大六天コース 山頂まで800m



交通案内 関越自動車道 水上ICから17Km・25分
JR水上駅より路線バスで上の原入口下車

お問い合わせは **藤原案内人クラブ**
代表 林 親 男
水上町藤原 2143-2 ☎ 0278-75-2138

※大幽遊歩道は別紙パンフレットをご覧ください。

武尊山麓神秘の幽大洞窟

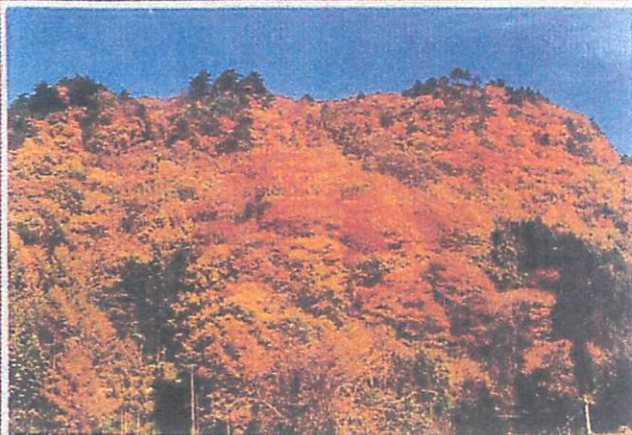
大幽遊歩道 1850m

宝樹スキ場

水源の郷・伝説と民話の里・藤原

あまよびやま

雨呼山遊歩道



『雨呼山の由来』

山頂の田圃に田圃りが続けば、山の水が枯れて作物は、全滅の被害を及ぼしてしまふ。藤原村の人々はこの災難を避けるために、村の中央にある「雨呼山」に登り大きな石を振り回して雨を呼んだ。雨は、山の麓の水（雨）より、大敵を振り回して雨を呼ぶ神の御霊が降ってきた。雨は、降り続く音も一日降つた。雨は、降り続く音も一日降つた。雨は、降り続く音も一日降つた。

【足の神様・大六天】

神話に出てくる八咫の足跡を祀ったもので足の神様として信仰されている。



遊歩道利用上のご注意

- ・コースでの区間距離は目安としてご利用下さい。
- ・身仕度は、登山の出来る仕度をお願いします。
- ・早朝や夕方は、一人歩きはやめましょう。
- ・山の中のコースは、獣の棲みかです。身をを守る手段として、鈴やラジオ等を鳴らしながら歩いて下さい。
- ・コースの周辺は、民地ですので、山菜等の採集は出来ません。又、山中への立入りも禁止です。
- ・洞窟内での宿泊、焚火は禁止します。
- ・乾燥する季節には、火気の使用、タバコの喫煙を厳禁。山火事防止にご協力下さい。
- ・洞窟周辺の岩登り、高山植物等の採集は厳禁。
- ・洞窟内は、落石の危険がありますので、長時間の滞在には特に気を付けて下さい。
- ・洞窟内の環境（動植物の生存環境）を損ねる様な行為、行動は厳禁。（天然記念物の保存）
- ・コースの中には、トイレが無いので、入山前に施設等で済ませて下さい。
- ・遊歩道コース、及び洞窟内での事故等は、すべてご利用者の自己責任となりますので、十分ご注意下さい。
- ・ゴミは、すべてお持ち帰り下さい。

■交通案内

- ・JR水上駅より路線バスで「上の原入口」で下車して町道上の原線を徒歩にて(1.7km)遊歩道入口へ。
- ・関越自動車道水上ICから(17km)25分遊歩道入口へ。寺山峠駐車場をご利用下さい。(無料)

■団体でのご利用について

- ・事前に宿泊先や観光会社等にご連絡を頂き、傷害保険等の加入をお願いします。また、コースの案内希望もお受けしますのでお申込み下さい。

雨呼山遊歩道

—すぐそこにある古来の伝承—

地域振興活性化事業

水上町商工会

☎ 0278-72-5511

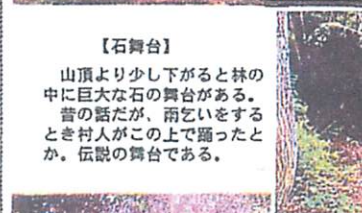
E-Mail: msj01@bay.wind.ne.jp



山頂十二神社

【山頂の十二様】

雨呼山の山頂を守る山の神様で、十二の神様を祀っている。



【石舞台】

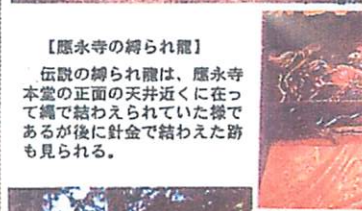
山頂より少し下がると林の中に巨大な石の舞台がある。昔の話だが、雨乞いをするとき村人がこの上で踊ったとか。伝説の舞台である。



龍穴洞

【龍穴洞】

山頂より北西に下がると、大きな岩壁に洞窟がある。お寺から抜け出した龍がこの洞窟で寝ていたと云われている。



恩永寺の龍

【恩永寺の縛られ籠】

伝説の縛られ籠は、恩永寺本堂の正面の天井近く在って縄で結わえられていた様であるが後に針金で結わえた跡も見られる。



諏訪神社

【藤原郷社諏訪神社】

諏訪神社は、雨呼山の麓にある。例大祭は、8月17日。を当り日として獅子舞や余興それに奉納相撲が行なわれ、五穀豊稔、天下太平、家内安全を区民一同が祈願する。

【雲越家住宅資料館】

別名「仙太郎館」と呼ばれる古い民家で、国指定重要有形民俗文化財で上州藤原の生活用具と民家が指定の対象であります。明治、大正、昭和と豪雪に耐えぬ山村生活の歴史を如実に伝える資料は貴重な文化遺産であります。



雲越家住宅資料館